

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 113	提案機関名 (社)神奈川県園芸協会(県果樹組合連合会)
要望問題名 梅の利用法に適応した優良品種の選定と普及について	
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 県内ではウメの品種としては、小田原地区を中心に白加賀、十郎、南高、梅郷、小梅など利用法に適応した品種が栽培されている。 県内開発の新品種「虎子姫」「十郎小町」「6-1」等について、及び他県で開発された新品種を含めて、利用法に合った優良品種の選定を願いたい。 また、県内各地域での適応性の調査を願いたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2~3年以内 ③4~5年以内 ④5~10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 3 消費者ニーズに合致した果樹有望品種の安定生産技術の確立 (2)本県育成ウメ新品種の安定生産技術の確立 イ 消費拡大を図る利用技術の検討		
対応の内容等	上記課題において生産環境部と連携し、本県育成のウメ新品種、有望系統の利用技術を検討しています。 具体的には新品種「虎子姫」「十郎小町」の加工特性の調査や新たな加工品の開発等を実施しており、今後も引き続き検討を進めます。また、有望系統の「6-1」も対象とし、同様に検討を進めます。 県内における地域適応性については各地区事務所と連携し、各地域における収穫期や果実品質等の情報収集に努めます。また、「6-1」については、現地試験に向けて苗木を養成しています。		
解決予定年限	①1年以内 ②2~3年以内 ③4~5年以内 ④5~10年以内		
備考			